

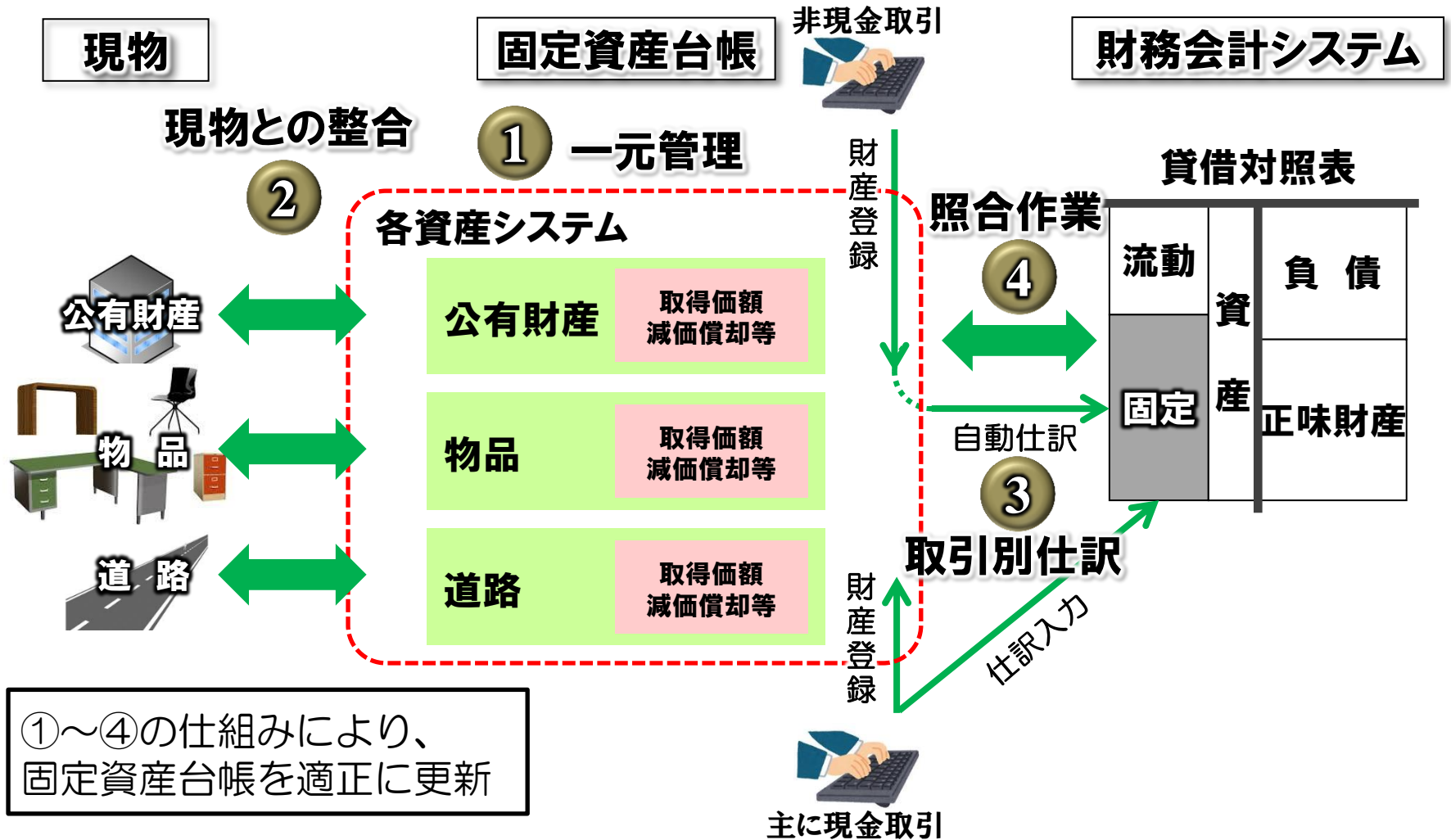
東京都における 固定資産台帳更新の仕組み

平成29年12月1日

東京都

仕組み① 一元管理

制度導入にあたり、公有財産台帳等の各資産システムに複式簿記に必要な機能を追加し、固定資産台帳の機能を持たせた



仕組み② 現物との整合

- 各局において、状況確認等により現物との整合性を確保
- 監査委員による決算審査でも、「財産の取得、管理及び処分の適正性」を審査対象としている

第2 審査の結果

1 決算計数について

また、財産に関する調書の計数は、次のとおり、その一部に誤りが認められた（詳細は〔第4局別事項〕に記載）。

(1) 公有財産

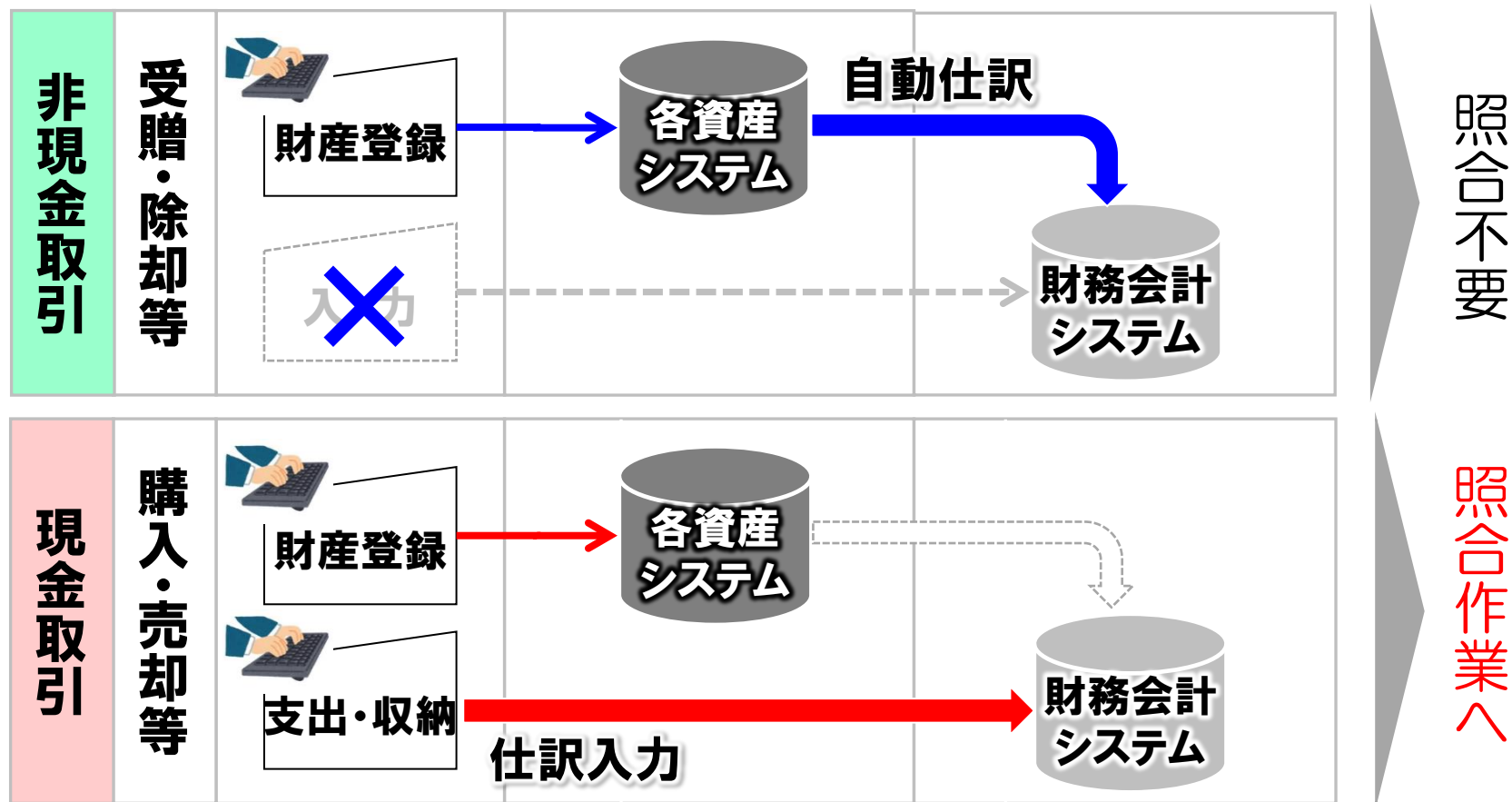
土 地			
過大に登載されているもの	1 件	841.90 m ²	建設局
建 物			
過大に登載されているもの	8 件	3,888.38 m ²	都市整備局、福祉保健局、教育庁

(2) 物 品

過大に登載されているもの	10 点	福祉保健局、病院経営本部、建設局
登載漏れとなっているもの	3 点	主税局、港湾局

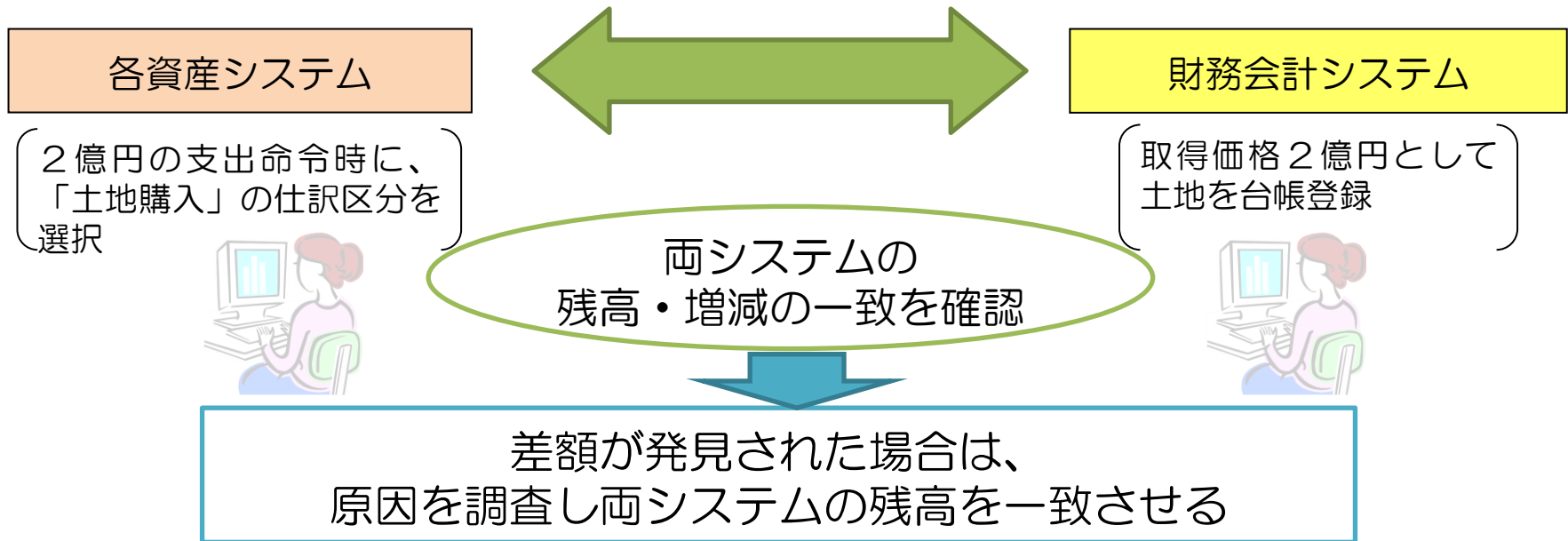
仕組み③ 取引別仕訳

- 非現金取引では原則、各資産システムへの登録内容が財務会計システムへ取り込まれ、自動的に仕訳が発生
- 現金取引では、支出命令時等に仕訳情報を入力



仕組み④ 照合作業 ～概要～

「照合作業」とは、各資産システム上の残高と財務会計システム上の勘定残高を整合させる作業のこと



仕組み④ 照合作業 ～不一致の事例～

【例】現金2億円を支出して土地を購入したケース

あるべき状態

固定資産台帳 ○取得価格2億円として土地を台帳登録

年度	組織名	目名	分類	財産種	名称	取得価格
29	〇〇局△△課	××費	行政財産	土地	■■■事務所在地	200,000,000

仕訳 ○「土地購入」の仕訳区分を選択

年度	仕訳組織名	目名	略勘定科目名	件名	借方金額	貸方金額
29	〇〇局△△課	××費	BS固定資産／行政財産／土地	■■■事務所在地	200,000,000	

一致

実際の登録

固定資産台帳 ○取得価格2億円として土地を台帳登録

年度	組織名	目名	分類	財産種	名称	取得価格
29	〇〇局△△課	××費	行政財産	土地	■■■事務所在地	200,000,000

仕訳 ×資産計上すべき支出を費用として処理

年度	仕訳組織名	目名	略勘定科目名	件名	借方金額	貸方金額
29	〇〇局△△課	××費	行政コスト計算書／投資的経費	■■■事務所在地	200,000,000	

不一致

仕組み④ 照合作業 ～作業手順～

① システムで局別・歳出目別・勘定科目別の「残高照合表」を作成

局名	目名	略勘定科目名	複式残高金額	資産システム残高金額	差額（複式-資産システム）
〇〇局	××費	BS固定資産/行政財産/土地	0	2 00,000,000	▲2 00,000,000
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

② 歳出目ごとに、固定資産台帳と仕訳の明細を照合

固定資産台帳

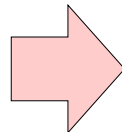
年度	組織名	目名	分類	財産種	名称	取得価格
29	〇〇局△△課	××費	行政財産	土地	■■■事務所用地	200,000,000

仕訳

年度	仕訳組織名	目名	略勘定科目名	件名	借方金額	貸方金額
（該当する資産計上仕訳なし）						

③ 差額の原因を特定し、正しい情報に訂正

固定資産台帳の2億円が正しい



仕訳が誤っているため、勘定科目（仕訳区分）を訂正

仕組み④ 照合作業 ～年間サイクル～

- 定期的に照合用帳票を配信し、事業所管課で照合を実施
- 照合作業を10月から開始することで、決算整理作業が翌年4月以降の決算時期に偏らないよう、作業を平準化

